

ヘブル

1:1 神は昔、預言者たちによって、多くの部分に分け、多くの方法で先祖たちに語られましたが、

1:2 この終わりの時には、御子にあつて私たちに語られました。神は御子を万物の相続者と定め、御子によって世界を造られました。

御子にあつて=(改2)御子によって

@ 終わりの時に、御子にあつて、語られました。=キリストは最後の総合された預言者

@ (1)御子、(2)万物の相続者 (3)世界を造られ

1:3 御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現れであり、その力あるみことばによって万物を保つておられます。御子は罪のきよめを成し遂げ、いと高き所で、大いなる方の右の座に着かれました。

本質=◀ 5481. charaktér (ハラクテール) 1回▶(N) 刻印する道具、刻印、印象、画像、肖像、正確な複製

完全な現れ=◀ 5287. hupostasis (ウパスタシス) 5回▶(N) サポート、実質、安定性、保証。物質、実在、信頼、実体

(改4)では「確信(2 コリ 9:4)など3回

@(改4)の注釈に直訳は「実態の刻印」とある

ヘブル 11:1 さて、信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

(ギ)信仰は望んでいることの実態であり、目に見えないものをテストするものです。

保証する= ◀ 5287. hupostasis (ウパスタシス) 5回 ▶ (N) サポート、実質、安定性、保証。物質、

実在、信頼、実体

@(4)神の栄光の輝き (5)本質の完全な現われ (6)万物を保って (7)罪のきよめ (8)大いなる方の右の座

@みことば=(ギ)レーマ

1:4 御子が受け継いだ御名は、御使いたちの名よりもすばらしく、それだけ御使いよりもすぐれた方とられました。

@ (9) 御使いよりもすぐれた

1:5 神はいったい、どの御使いに向かって言われたのでしょうか。「あなたはわたしの子。わたしが今日、あなたを生んだ」と。またさらに、「わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる」と。

@(10)あなたを生んだ=

1:6 そのうえ、この長子をこの世界に送られたとき、神はこう言われました。「神のすべての御使いよ、彼にひれ伏せ。」(4352)

ひれ伏せ=(改2)拝め

ひれ伏せ= ◀ 4352. proskuneó (プラスクネーオ) 60回 ▶ (一般的な礼拝を意味する単語) 敬意を払う、(畏敬をもって手に)キスする、ひざまづく、礼拝する

@(世)も 1982 年までは「拝め」と訳していた 1960 年英語訳完成 1980 年日本語訳が完成

@(11)御使いよりまさる

1:8 御子については、こう言われました。「神よ。あなたの王座は世々限りなく、あなたの王国の杖は公正の杖。

世々 = aiōna tou aiōnos アイオナ・トウ・アイオナス

世 = ◀ 165. aión (アイオーン) 125 回 ▶ 世(マタイ 13:22)、とこしえに(マタ 6:13)、永遠に(ヨハネ 6:51)、

昔(ヨハ 9:32) (google)世紀、

1:9 あなたは義を愛し、不法を憎む。それゆえ、神よ、あなたの神は、喜びの油で、あなたに油を注がれた。あなたに並ぶだれよりも多く。」

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

1:11 これらのものは滅びます。しかし、あなたはいつまでもながらえられます。すべてのものは、衣のようにすり切れます。

1:14 御使いはみな、奉仕する霊であって、救いを受け継ぐことになる人々に仕えるために遣わされているのではありませんか。

2:1 こういうわけで、私たちは聞いたことを、ますますしっかりと心に留め、押し流されないようにしなければなりません。

こういうわけで = 啓示が御子によって来たのだから

2:2 御使いたちを通して語られたみことばに効力があり、すべての違反と不従順が

当然の処罰を受けたのなら、

@御使いたちを通して語られたみことばでさえ＝律法(使徒 7:53)

(改2)の注釈に(申 33:2 七十人訳によるとあるが、御使いによって与えられたという根拠は不明)

2:3 こんなにすばらしい救いをないがしろにした場合、私たちはどうして処罰を逃れることができるでしょう。この救いは、初めに主によって語られ、それを聞いた人たちが確かなものとして私たちに示したものです。

2:4 そのうえ神も、しるしと不思議と様々な力あるわざにより、また、みこころにしたがって聖霊が分け与えてくださる賜物によって、救いを証ししてくださいました。

ヘブル 2:7 あなたは、人を御使いよりわずかの間低いものとし、これに栄光と誉れの冠をかぶらせ、

(2017年版初版訂正分)人を御使いよりも×→人を御使いより。

2:8 万物を彼の足の下に置かれました。」神は、万物を人の下に置かれたとき、彼に従わないものを何も残されませんでした。それなのに、今なお私たちは、すべてのものが人の下に置かれているのを見てはいません。

。

2:9 ただ、御使いよりもわずかの間低くされた方、すなわちイエスのことは見ています。イエスは死の苦みのゆえに、栄光と誉れの冠を受けられました。その死は、神の恵みによって、すべての人のために味わわれたものです。

@(イエスのことは)見えています

2:10 多くの子たちを栄光に導くために、彼らの救いの創始者を多くの苦しみを通して完全な者とされたのは、万物の存在の目的であり、また原因でもある神に、ふさわしいことであったのです。

2:11 聖とする方も、聖とされる者たちも、みな一人の方から出ています。それゆえ、イエスは彼らを兄弟と呼ぶことを恥とせず、こう言われます。

@聖とする方も=子、聖とされる者たち=人間、一人の方=神

2:12 「わたしは、あなたの御名を兄弟たちに語り告げ、会衆の中であなたを賛美しよう。」

賛美する= ◀ 5214. Humneó (フ\_m ネオ) 4回 ▶ (V)歌う、賛美を歌う

2:14 そういっわけで、子たちがみな血と肉を持っているので、イエスもまた同じように、それらのものをお持ちになりました。それは、死の力を持つ者、すなわち、悪魔をご自分の死によって滅ぼし、

2:15 死の恐怖によって一生涯奴隷としてつながれていた人々を解放するためでした。

2:17 したがって、神に関わる事柄について、あわれみ深い、忠実な大祭司となるために、イエスはすべての点で兄弟たちと同じようにならなければなりませんでした。それで民の罪の宥めがなされたのです。

2:18 イエスは、自ら試みを受けて苦しまれたからこそ、試みられている者たちを助けることができるのです。

3:1 ですから、天の召しにあずかっている聖なる兄弟たち。私たちが告白する、使

**徒**であり**大祭司**であるイエスのことを考えなさい。

@イエスは使徒である。最初の使徒職 遣わされたものが・・遣わす)

ヨハネ 20:21 イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父がわたしを**遣わされた**ように、わたしもあなたがたを**遣わします**。」

@別の単語

遣わした = ◀ 649. apostelló (アパステロ) (133 回) ▶ 送る、メッセンジャーとして遣わす

遣わします = ◀ 3992. pempó (ペンポー) (79 回) ▶ 送る

3:5 モーセは、後に語られることを証しするために、神の家全体の中でしもべとして忠実でした。

しもべ = (N) ◀ 2324. Therapón (セラポン) 1 回 ▶ しもべ、atendant, minister

3:7 ですから、聖霊が言われるとおりです。「**今日**、もし御声を聞くなら、

3:8 あなたがたの心を頑なにしてはならない。荒野での試みの日に神に逆らったときのように。

3:9 あなたがたの先祖はそこでわたしを試み、わたしを試し、四十年の間、わたしのわざを見た。

わたしを試し = (改2) 証拠を求めて

@証拠を求めたのでわざを見た。=わざを見たのは不信仰の故

(ギ) そこで私を試した。あなたの父たちは。試すことによって。そして私のわざを見た。40年間。

3:12 兄弟たち。あなたがたのうちに、不信仰な悪い心になって、生ける神から離れる者がないように気をつけなさい。

3:13 「今日」と言われている間、日々互いに励まし合って、だれも罪に惑わされて頑なにならないようにしなさい。

励まし= ◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109 回▶ (V) 呼びかける、勧める、助言する、奨励する、慰める、励ます

(V) ◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109 回▶ (V) 呼びかける、勧める、助言する、奨励する、慰める、励ます

(N) ◀ 3874. paraklésis (パラクレシス) 29 回▶ (N) 援助、励まし、呼びかけ、慰め、勧め(1 コリ 12:8)

(N) ◀ 3875. Paraklétos (パラクレイタス) 5 回▶ 傍らに呼ばれた者、仲裁者、慰める人、助け手

@ (ギ)パラカレオ パラ=分けてある カレオ=to call somebody 誰かを呼んで分ける

◀ 3844. Para (パラ) 194 回▶ Definition: from beside, by the side of, by, beside

多くは、by, of, from, along, beside, with, among, などと訳される。

◀ 2564. kaleó (カレオ) 148 回▶ Definition: to call Usage: (a) I call, summon, invite, (b) I call, name.

4:2 というのも、私たちにも良い知らせが伝えられていて、あの人たちと同じなのです。けれども彼らには、聞いたみことばが益となりませんでした。みことばが、聞いた人たちに信仰によって結びつけられなかったからです。

(改2)へブル 4:2 **福音**を説き聞かされていることは、私たちが彼らと同じなのです。ところが、その聞いたみことばも、彼らには益になりませんでした。みことばが、それを聞いた人たちに、信仰によって、結びつけられなかったからです。

結びつける = ◀ 4786. sugkerannumi (スケラ<sup>ラ</sup>ルメ) 2回 ▶ 結びつける(1コリ 12:24)

@旧約の福音

@ガラ3:8 異邦人をその信仰によって義と認める、前もって福音を告げたのです。

@マタ13:17 多くの預言者や義人達が、あなたがたのしているものを見たいと、切に願った

@へブル11:13 約束のものを手に入れることはありませんでしたが、はるかにそれを見て喜び

@(創50:25) 約束の地

@(創22:18) (へブ11:19) 復活

@最初に福音を聞いたのはサタン(創3:15ー)

4:7 神は再び、ある日を「今日」と定め、長い年月の後、前に言われたのと同じように、ダビデを通して、「今日、もし御声を聞くなら、あなたがたの心を頑なにしてはならない」と語られたのです。

4:12 神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。

ことば = ログス

関節 = ◀ 719. harmos (ハル<sup>マ</sup>ス)1回 ▶ 関節(体の関節、)



4:13 神の御前にあらわでない被造物はありません。神の目にはすべてが裸であり、さらけ出されています。この神に対して、私たちは申し開きをするのです。

@

ローマ 14:10 それなのに、あなたは どうして、自分の兄弟をさばくのですか。どうして、自分の兄弟を見下すのですか。私たちはみな、神のさばきの座に立つことになるのです。

IIコリ 5:10 私たちはみな、善であれ悪であれ、それぞれ肉体においてした行いに応じて報いを受けるために、キリストのさばきの座の前に現れなければならないのです。

マタ 12:36 わたしはあなたがたに言います。人は、口にするあらゆる無益なことばについて、さばきの日に申し開きをしなければなりません。

4:14 さて、私たちには、もろもろの天を通られた、神の子イエスという偉大な大祭司がおられるのですから、信仰の告白を堅く保とうではありませんか。

4:15 私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯しませんでした。すべての点において、私たちと同じように試みにあわれたのです。

4:16 ですから私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、折にかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

(KJV) the throne of grace (mercy seat ではない)

(ギ) tō thronō tēs charitos = (the throne of grace)

恵み = ◀ 5485. charis (ハリス) 157 回 ▶ 恵み、親切

1ヨハ 3:20 たとえ自分の心が責めたとしても、安らかでいられます。神は私たちの心よりも大きな方であり、すべてをご存じだからです。

ヘブル 10:19 こういうわけで、兄弟たち。私たちはイエスの血によって大胆に聖所に入ることができます。

ヘブル 5:4 また、この栄誉は自分で得るのではなく、アロンがそうであったように、神に召されて受けるのです。

@2コリ 3:5 何かを、自分が成したことだと考える資格は、私たち自身にはありません。私たちの資格は神から与えられるものです。

5:5 同様にキリストも、大祭司となる栄誉を自分で得たのではなく、「あなたはわたしの子。わたしが今日、あなたを生んだ」と語りかけた方が、それをお与えになったのです。

栄誉を得る = ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 62回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

5:7 キリストは、肉体をもって生きている間、自分を死から救い出すことができる方に向かって、大きな叫び声と涙をもって祈りと願いをささげ、その敬虔のゆえに聞き入れられました。

祈り = ◀ 1162. deésis (デイセス) 18回 ▶ (N) 祈り、願い(エペソ 6:18)、叫び(1ペテロ 3:12)、必要、

願い = ◀ 2428. hiketéria (イケテリア) 1回 ▶ (N) オリーブの枝、※お願いに上がる時に白い羊毛と編んだオリーブの枝を掲げた。★★

5:8 キリストは御子であられるのに、お受けになった様々な苦しみによって従順を学び、

5:11 このメルキゼデクについて、私たちには話すことがたくさんありますが、説き明かすことは困難です。あなたがたが、聞くことに対して鈍くなっているからです。

5:12 あなたがたは、年数からすれば教師になっていなければならないにもかかわらず、神が告げたことばの初歩を、もう一度だれかに教えてもらう必要があります。あなたがたは固い食物ではなく、乳が必要になっています。

初歩=4747 stoicheion 元素、基本、宇宙の物質由来の要素  
(@ガラ4:9では「もろもろの霊」だがどうしてそう訳すのかわからない)  
(改2)幼稚な教え (KJV) elements

ガラ 4:9 しかし、今では神を知っているのに、いや、むしろ神に知られているのに、どうして弱くて貧弱な、もろもろの霊に逆戻りして、もう一度改めて奴隷になりたいと願うのですか。

@もろもろの霊=4747 stoicheion 元素、基本、宇宙の物質由来の要素  
(どうして「もろもろの霊」と訳すのかわからない)  
(改2)幼稚な教え (KJV) elements

コロ 2:8 あの空しいだましごとの哲学によって、だれかの捕らわれの身にならないように、注意しなさい。それは人間の言い伝えによるもの、この世のもろもろの霊によるものであり、キリストによるものではありません。

@もろもろの霊=4747 stoicheion 元素、基本、宇宙の物質由来の要素  
(どうして「もろもろの霊」と訳すのかわからない)  
(改2)幼稚な教え (KJV) the basic principles

コロ 2:20 もしあなたがたがキリストとともに死んで、この世のもろもろの霊から離れたのなら、どうして、まだこの世に生きているかのように、

@もろもろの霊=4747 stoicheion 元素、基本、宇宙の物質由来の要素  
(どうして「もろもろの霊」と訳するのかわからない)

(改2)幼稚な教え (KJV) the basic principles

ヘブル 5:12 あなたがたは、年数からすれば教師になっていなければならないにもかかわらず、神が告げたことばの初歩を、もう一度だれかに教えてもらう必要があります。あなたがたは固い食物ではなく、乳が必要になっています。

@初歩=4747 stoicheion 元素、基本、宇宙の物質由来の要素  
(改2)初歩、(KJV)the first principles

2ペテ 3:10 しかし、主の日は盗人のようにやって来ます。その日、天は大きな響きを立てて消え去り、天の万象は焼けて崩れ去り、地と地にある働きはなくなってしまう。

天の万象=4747 stoicheion 元素、基本、宇宙の物質由来の要素  
(改2)天の万象、(KJV)the elements

2ペテ 3:12 そのようにして、神の日が来るのを待ち望み、到来を早めなければなりません。その日の到来によって、天は燃え崩れ、天の万象は焼け溶けてしまいます。

天の万象=4747 stoicheion 元素、基本、宇宙の物質由来の要素  
(改2)天の万象、(KJV)the elements

5:13 乳を飲んでいる者はみな、義の教えに通じてはなりません。幼子なのです。

教え=(ギ)ロゴス=◀ 3056. logos (ロゴス) 331 回▶

5:14 固い食物は、善と悪を見分ける感覚を経験によって訓練された大人のもので  
す。

6:1 ですから私たちは、キリストについての初歩の教えを後にして、成熟を目指して  
進もうではありませんか。死んだ行いからの回心、神に対する信仰、

6:2 きよめの洗いについての教えと手を置く儀式、死者の復活と永遠のさばきなど、  
基礎的なことをもう一度やり直したりないようにしましょう。

@1) 死んだ行ないからの回心=悔い改め 2) 信仰 3) きよめの洗い=洗  
礼 4) 手を置く儀式=按手 5) 死者の復活 6) とこしえのさばき

6:4 一度光に照らされ、天からの賜物を味わい、聖霊にあずかる者となって、

6:5 神のすばらしいみことばと、来たるべき世の力を味わったうえで、

@みことば=(ギ)レーマ

6:6 墮落してしまうなら、そういう人たちをもう一度悔い改めに立ち返らせることはで  
きません。彼らは、自分で神の子をもう一度十字架にかけて、さらしものにする者た  
ちだからです。

@4 節からのこの文章は es imposible から始まる

@(ヘブル 10:26) もし私たちが、真理の知識を受けた後、進んで罪にとど  
まり続けるなら、もはや罪のきよめのためにはいけにえは残されておらず、

6:12 その結果、怠け者とならずに、信仰と忍耐によって約束のものを受け継ぐ人た  
ちに倣う者となることです。

6:18 それは、前に置かれている希望を捕らえようとして逃れて来た私たちが、約束  
と誓いという変わらない二つのものによって、力強い励ましを受けるためです。その  
二つについて、神が偽ることはあり得ません。

約束と誓いという変わらない二つのものによって

=(改2) それは、変えることのできない二つの事がらによって(約束と誓いという言葉がない)

@(改2)「約束と誓い」という言葉が含まれているかどうかを県 s 尿するために書き出している。

@はっきりとは書かれていなさそうである。

6:13 神は、アブラハムに約束されるとき、ご自分よりすぐれたものをさして誓うことがありえないため、ご自分をさして誓い、

6:14 こう言われました。「わたしは必ずあなたを祝福し、あなたを大いにふやす。」

6:15 こうして、アブラハムは、忍耐の末に、約束のものを得ました。

6:16 確かに、人間は自分よりすぐれた者をさして誓います。そして、確証のための誓いというものは、人間のすべての反論をやめさせます。

6:17 そこで、神は約束の相続者たちに、ご計画の変わらないことをさらにはっきり示そうと思い、誓いをもって保証されたのです。

6:18 それは、変えることのできない二つの事がらによって、——神は、これらの事がらのゆえに、偽ることができません。——前に置かれている望みを捕えるためにのがれて来た私たちが、力強い励ましを受けるためです。

6:20 イエスは、私たちのために先駆けとしてそこに入り、メルキゼデクの例に倣って、とこしえに大祭司となられたのです。

7:1 このメルキゼデクはサレムの王で、いと高き神の祭司でしたが、アブラハムが王たちを打ち破って帰るのを出迎えて祝福しました。

創世記 14:18 また、サレムの王メルキゼデクは、パンとぶどう酒を持って来

た。彼はいと高き神の**祭司**であった。

メルキゼデク = ◀ 4442. Malki-tsedeq (מַלְכִי־צֶדֶק)(2回)(N)▶

◀ 4428. melek (מֶלֶךְ)(2523回)(N)▶王 + ◀ 6664. tsedeq (צֶדֶק)(118回)(N)▶義、正しい

祭司 = ◀ 3548. kohen (כֹּהֵן)(750回)(N)▶祭司

7:2 アブラハムは彼に、すべての物の十分の一を分け与えました。彼の名は訳すと、まず「義の王」、次に「サレムの王」、すなわち「平和の王」です。

7:3 父もなく、母もなく、系図もなく、生涯の初めもなく、いのちの終わりもなく、神の子に似た者とされて、いつまでも祭司としてとどまっているのです。

7:4 さて、その人がどんなに偉大であったかを考えてみなさい。族長であるアブラハムでさえ、彼に一番良い戦利品の十分の一を与えました。

7:5 レビの子らの中で祭司職を受ける者たちは、同じアブラハムの子孫であるのに、民から、すなわち自分の兄弟たちから、十分の一を徴収するように、律法で命じられています。

7:6 ところが、レビの子らの系図につながっていない者が、アブラハムから十分の一を受け取り、約束を受けたアブラハムを祝福しました。

7:7 言うまでもなく、より劣った者が、よりすぐれた者から祝福を受けるものです。

7:8 十分の一を受けているのは、一方では、死ぬべき人たちですが、他方では、生きていと証しされている人です。

7:9 言うならば、十分の一を受け取るレビでさえ、アブラハムを通して十分の一を納めたのでした。

7:10 というのは、メルキゼデクがアブラハムを出迎えたとき、レビはまだ父の腰の中にいたからです。

7:11 民はレビ族の祭司職に基づいて律法を与えられました。もしその祭司職によって完全さに到達できたのなら、それ以上何の必要があつて、アロンに倣つてではなく、メルキゼデクに倣つてと言われる、別の祭司が立てられたのでしょうか。

7:12 祭司職が変われば、必ず律法も変わらなければなりません。

7:13 私たちがこれまで語ってきた方は、祭壇に仕える者が出たことのない、別の部族に属しておられます。

7:14 私たちの主がユダ族から出られたことは明かですが、この部族について、モーセは祭司に関することを何も述べていないのです。

#### 詩編

110:1 【主】は私の主に言われた。「あなたはわたしの右の座に着いていなさい。わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまで。」

110:2 【主】はあなたの力の杖をシオンから伸ばされる。「あなたの敵のただ中で治めよ」と。

110:3 あなたの民はあなたの戦いの日に喜んで仕える。聖なる威光をまつて夜明け前から。あなたの若さは朝露のようだ。

110:4 【主】は誓われた。思い直されることはない。「あなたはメルキゼデクの例に倣いとこしえに祭司である。」

@ユダ族のダビデに対して、祭司とするという神の言葉

7:15 もしメルキゼデクと同じような、別の祭司が立つなら、以上のことはますます明らかになります。

7:16 その祭司は、肉についての戒めである律法にはよらず、朽ちることのない、いのちの力によって祭司となったのです。

7:17 この方について、こう証しされています。「あなたは、メルキゼデクの例に倣い、とこしえに祭司である。」



@当時、エルサレムの腐敗した祭司制度に嫌気をさしていた、ヘブル人にとって、別の祭司がいるという言葉は大きな励ましとなった。

7:18 一方で、前の戒めは、弱く無益なために廃止され、

7:19 —律法は何も全うしなかったのです—もう一方では、もっとすぐれた希望が導き入れられました。これによって私たちは神に近づくのです。

7:22 その分、イエスは、もっとすぐれた契約の保証となられたのです。

7:23 また、レビの子らの場合は、死ということがあるために、務めにいつまでもとどまることができず、大勢の者が祭司となっていますが、

7:24 イエスは永遠に存在されるので、変わることはない祭司職を持っておられます。

イエス=(改2)キリスト

@永遠に

7:25 したがってイエスは、いつも生きていて、彼らのためにとりなしをしておられるので、ご自分によって神に近づく人々を完全に救うことができになります。

とりなしする= ◀ 1793. entugchanó (エンテンチュンハノ) 5 回 ▶ 懇願する。嘆願する。

(偶然に) 出会う、暗示的に協議する。

@3) 完全に=(別)永久に 4) とりなしをしておられる

7:28 律法は、弱さを持つ人間たちを大祭司に立てますが、律法の後から来た誓いのみことばは、永遠に完全な者とされた御子を立てるのです。

8:5 この祭司たちは、天にあるものの**写しと影**に仕えています。それは、モーセが幕屋を設営しようとしたときに、御告げを受けたとおりのものです。神は、「よく注意して、山であなたに示された型どおりに、すべてのものを作らなければならない」と言われました。

写し= ◀ 5262. hupodeigma (ウパーダグマ) 6回▶形、コピー、模範

写し(へブ 8:5、9:23)。模範(ヨハ 13:15、ヤコ 5:10)、倣って(へブル 4:11)、実例(2ペテ 2:6)

影= ◀ 4639. skia (スキヤ) 7回▶影(使徒 5:15)。陰(マタ 4:16、マコ 4:32)。(ひな形としての影)(コロ 2:17)

コロ 2:17 これらは、来たるべきものの**影**であって、本体はキリストにあります。

へブル 10:1 律法には来たるべき良きものの影はあっても、その実物はありません。ですから律法は、年ごとに絶えず献げられる同じいけにえによって神に近づく人々を、完全にすることができません。

@よく注意して=自分の計画や、見た目のすばらしさではなく、また他人が成功したからではなく、主に与えられた方法を行う

@(1歴 17:2)すると、ナタンはダビデに言った。「あなたの心にあることをみな行ないなさい。神があなたとともにおられるのですから。」

8:6 しかし今、この大祭司は、よりすぐれた契約の仲介者であるだけに、その分、はるかにすぐれた奉仕を得ておられます。その契約は、よりすぐれた約束に基づいて制定されたものです。

奉仕 = ◀ 3009. leitourgia (ライトウルギア) 6 回 ▶ 務め(ルカ 1:23)、奉仕の務め(2コリ 9:12)、礼拝(ピリ 2:17)、仕える(ピリ 2:30)、奉仕(ヘブル 8:6)、

ヘブル 9:21 また彼は、幕屋と、礼拝に用いるすべての用具にも同様に血を振りかけました。

8:10 これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである。——主のことば——わたしは、わたしの律法を彼らの思いの中に置き、彼らの心にこれを書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

9:1 さて、初めの契約にも、礼拝の規定と地上の聖所がありました

礼拝 = ◀ 2999. latreia (ラトラーヤ) 5 回 ▶ (N) 礼拝、神に仕えること、神殿での奉仕 (NKJ)(KJV) the service of God

ヨハ 16:2 人々はあなたがたを会堂から追放するでしょう。実際、あなたがたを殺す者がみな、自分は神に奉仕していると思う時が来ます。

ロマ 9:4 彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法の授与も、礼拝も、約束も彼らのものです

ロマ 12:1 ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。

ヘブル 9:1 さて、初めの契約にも、礼拝の規定と地上の聖所がありました。

ヘブル 9:6 さて、これらの物が以上のように整えられたうえで、祭司たちはいつも第一の幕屋に入って、礼拝を行います。

9:2 すなわち、第一の幕屋が設けられ、そこには燭台と机と臨在のパンがありました。それが聖所と呼ばれる場所です。

第一の幕屋 = ◀ 4413. prótos (プロトス) 100回 ▶ (A) 第一の、はじめのもの、先のもの、

the outer one(NAS), the first(KJV), the first part(NKJ)

@(改 4)は不正確(誤解を生む)、(改 2)のほうが正しい。9:8の「第一の幕屋」と同じ言葉を当てたので、混乱を生じさせます。

(改 2) 9:2 幕屋が設けられ、その前部の所には、燭台と机と供えのパンがありました。聖所と呼ばれる所です。

9:3 また、第二の垂れ幕のうしろには、至聖所と呼ばれる幕屋があり、

第二の垂れ幕 = the second veil (KJV)

至聖所 = (ギ)Hagia hagiōn = the Hply of Holies

(A)聖なる ◀ 40. hagios (ハギアス) 235回 ▶

9:4 そこには金の香壇と、全面を金でおおわれた契約の箱があり、箱の中には、マナの入った金の壺、芽を出したアロンの杖、契約の板がありました。

契約の板 = 複数形 (改 2) 契約の二つの板

9:5 また、箱の上で、栄光のケルビムが「宥めの蓋」をおおっていました。しかし、これらについて、今は一つ一つ述べることはできません。

宥めの蓋 = ◀ 2435. hilastérion 2回 ▶ 贖罪蓋、

(INT, ESV, NAS, NKJ,)で the mercy seat となっているが、正しい訳ではない。

(KJV)は隙間をなくして the mercyseat として違いを設けているが、それでも正しくはない。

@それでも旧約の契約の箱に対しても「a mercy seat(出 25:17)」と翻訳しているので、そういうものと理解していれば、それほど勘違いはないのかもしれない。

ローマ 3:25 神はこの方を、信仰によって受けるべき、血による宥めのさげ物として公に示されました。ご自分の義を明らかにされるためです。神は忍耐をもって、これまで犯されてきた罪を見逃してこられたのです。

(へ) ◀ 3727. kapporeth ▶ ( כַּפֹּרֶת ha-kappōret) (改 2)「あがないの蓋」(改 4)「宥めの蓋」

出エジプト 37:6 ついで彼は、純金で「贖いのふた」を作った。長さは二キュビト半、幅は一キュビト半。

英語の旧約聖書では多くの訳でも「the mercy seat」

スペイン語では「el propiciatorio」

ただし、宗教用語としては(Wiki)恵の座(めぐみのざ、英語: mercy seat)は、ウェスレー派やホーリネス派のキリスト教教会において、説教壇の前に設置された、ひざまずいて祈るための木製ベンチ。

ヘブル 4:16 ですから私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、折にかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

(NKJ) 4:16 Let us therefore come boldly to the throne of grace, that we

may obtain mercy and

find grace to help in time of need.

(ギ) tō thronō tēs charitos = (the throne of grace)

9:6 さて、これらの物が以上のように整えられたうえて、祭司たちはいつも第一の幕屋に入って、礼拝を行います。

第一の幕屋 = first part of the tabernacle (NKJ) 幕屋の最初の部分

礼拝 = ◀ 2999. latreia (ラトラーヤ) 5 回 ▶ (N) 礼拝、神に仕えること、神殿での奉仕 (NKJ)(KJV) the service of God

ヨハ 16:2 人々はあなたがたを会堂から追放するでしょう。実際、あなたがたを殺す者がみな、自分は神に奉仕していると思う時が来ます。

ロマ 9:4 彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法の授与も、礼拝も、約束も彼らのものです

ロマ 12:1 ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。

ヘブル 9:1 さて、初めの契約にも、礼拝の規定と地上の聖所がありました。

ヘブル 9:6 さて、これらの物が以上のように整えられたうえて、祭司たちはいつも第一の幕屋に入って、礼拝を行います。

9:7 しかし、第二の幕屋には年に一度、大祭司だけが入ります。そのとき、自分のため、また民が知らずに犯した罪のために献げる血を携えずに、そこに入るようなことはありません。

第二の幕屋 = 第二の部分 the second part (NKJ)

9:8 聖霊は、次のことを示しておられます。すなわち、**第一の幕屋**が存続しているかぎり、聖所への道がまだ明らかにされていないということです。

第一の幕屋=(英)(ギ) the first tabernacle (KJV)

@ヘブル9章1節にも「第1の幕屋」という言葉があるが、意味が全く違います。

@ (エレミヤ 3:16 その日、あなたがたが国中にふえて多くなるとき、主の御告げ。彼らはもう、主の契約の箱について何も言わず、心にも留めず、思い出しもせず、調べもせず、再び作ろうともしない。

ヘブル 9:9 この幕屋は今の時を示す比喻です。それにしたがって、ささげ物といけにえが献げられますが、それらは礼拝する人の良心を完全にすることができません。

仕える = ◀ 3000. latreuó (ラトゥルーオ) 21 回 ▶ (V) 仕える、奉仕する、礼拝する

9:12 また、雄やぎと子牛の血によってではなく、ご自分の血によって、ただ一度だけ**聖所**に入り、永遠の贖いを成し遂げられました。

聖所=hagia = ◀ 40. hagios (ハギアス) 235 回 ▶ (A)聖なる

(改 2)では「まことの」という形容詞を付けて「まことの聖所」となっているが正しくない。

9:14 まして、キリストが傷のないご自分を、とこしえの**御霊によって**神にお献げになったその血は、どれだけ私たちの良心をきよめて死んだ行いから離れ

させ、生ける神に仕える者にすることでしょうか。

9:17 遺言は人が死んだとき初めて有効になるのであって、遺言者が生きている間には、決して効力を持ちません。

9:18 ですから、初めの契約も、血を抜きに成立したではありません。

9:19 モーセは、律法にしたがってすべての戒めを民全体に語った後、水と緋色の羊の毛とヒソプとともに、子牛と雄やぎの血を取って、契約の書自体にも民全体にも振りかけ、

9:21 また彼は、幕屋と、礼拝に用いるすべての用具にも同様に血を振りかけました。

礼拝=◀ 3009. leitourgia (ライトウルギア) 6回▶務め(ルカ 1:23)、奉仕の務め(2コリ 9:12)、礼拝(ピリ 2:17)、仕える(ピリ 2:30)、奉仕(ヘブル 8:6)、

ルカ 1:23 やがて務めの期間が終わり、彼は自分の家に帰った。

IIコリ 9:12 なぜなら、この奉仕の務めは、聖徒たちの欠乏を満たすだけでなく、神に対する多くの感謝を通してますます豊かになるからです。

ピリ 2:17 たとえ私が、あなたがたの信仰の礼拝といういけにえに添えられる、注ぎのささげ物となっても、私は喜びます。あなたがたすべてとともに喜びます。

(ギ)しかし、たとえ、私が、あなたがたの礼拝(奉仕・仕える事)と信仰という注ぎかけの捧げものになっても、私は喜びます。あなたがたすべてとともに喜びます。



ピリ 2:30 彼はキリストの働きのために、死ぬばかりになりました。あなたがたが私に仕えることができなかつた分を果たすため、いのちの危険を冒したのです。

ヘブル 8:6 しかし今、この大祭司は、よりすぐれた契約の仲介者であるだけに、その分、はるかにすぐれた奉仕を得ておられます。その契約は、よりすぐれた約束に基づいて制定されたものです。

ヘブル 9:21 また彼は、幕屋と、礼拝に用いるすべての用具にも同様に血を振りかけました。

9:22 律法によれば、ほとんどすべてのものは血によってきよめられます。血を流すことがなければ、罪の赦しはありません。

ヘブル 9:26 もし同じだとしたら、世界の基が据えられたときから、何度も苦難を受けなければならなかつたでしょう。しかし今、キリストはただ一度だけ、世々の終わりに、ご自分をいけにえとして罪を取り除くために現れてくださいました。

@大贖罪日はこの日のひな形

@レビ

16:29 次のことは、あなたがたにとって永遠の掟となる。第七の月の十日には、あなたがたは自らを戒めなければならない。この国に生まれた者も、あなたがたの中に寄留している者も、いかなる仕事もしてはならない。

16:30 この日は、あなたがたをきよめようと、あなたがたのために宥めが行われるからである。あなたがたは【主】の前ですべての罪からきよくなる。

16:31 これがあなたがたの全き休みのための安息日であり、あなたがたは自らを戒める。これは永遠の掟である。

16:32 油注がれ、父に代わって祭司として仕えるために任命された祭司が、宥めを行う。彼は亜麻布の装束、すなわち聖なる装束を着ける。

16:33 彼は至聖所のための宥めを行い、また会見の天幕と祭壇のための宥めを行う。彼はまた、祭司たちと集会のすべての民のための宥めを行う。

至聖所=(מִקְדָּשׁ)(מִקְדָּשׁ) miqdas haqodes =◀ 4720. miqdash or miqqedash  
74回▶聖所+◀ 6944. qodesh ▶聖なる

会見の天幕=(מִוֶּהֶב)(לְהִוָּה) ohel mowed

16:34 以上のことは、あなたがたにとって永遠の掟となる。これは年に一度イスラエルの子らのために行われる、彼らのすべての罪を除く宥めである。」モーセは【主】が命じられたとおりに行った。

9:27 そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、

10:1 律法には来たるべき良きものの影はあっても、その実物はありません。ですから律法は、年ごとに絶えず献げられる同じいけにえによって神に近づく人々を、完全にすることができません。

実物 =◀ 1504. eikón (アイコン) 23回▶(N) 肖像(マタ 22:20)、似たかたち(ロマ 1:23)、

実物(ヘブ 10:1)、かたちと同じ姿(ロマ 8:29)、かたち(1 コリ 11:7)、  
像(黙示 13:14、14:9、15:2、16:2、19:20、20:4)

@写しと影=(8:5)

8:5 この祭司たちは、天にあるものの写しと影に仕えています。それは、モーセが幕屋を設営しようとしたときに、御告げを受けたとおりのものです。

神は、「よく注意して、山であなたに示された型どおりに、すべてのものを作らなければならない」と言われました。

写し= ◀ 5262. hupodeigma (ウパーダグマ) 6回▶形、コピー、模範

写し(ヘブ 8:5、9:23)。模範(ヨハ 13:15、ヤコ 5:10)、倣って(ヘブル 4:11)、実例(2 ペテ 2:6)

影= ◀ 4639. skia (スキヤ) 7回▶影(使徒 5:15)。陰(マタ 4:16、マコ 4:32)。(ひな形としての影)(コロ 2:17)

安息日=コロサイ 2:17 これらは、来たるべきものの影であって、本体はキリストにあります。

アダム=(ロマ 5:14) 5:14 けれども死は、アダムからモーセまでの間も、アダムの違反と同じようには罪を犯さなかった人々さえも、支配しました。アダムは来たるべき方のひな型です。

◀ 2675. Katartizó (カタルチゾ) 13回▶完全にする、準備する  
一つに合わせる、繕う

マタイ 21:16 イエスに言った。「子どもたちが何と言っているか、聞いていますか。」イエスは言われた。「聞いています。『幼子たち、乳飲み子たちの口を通して、あなたは誉れを打ち立てられました』とあるのを、あなたがたは読んだことがないのですか。」

マルコ 1:19 また少し先に行き、ゼベダイの子ヤコブと、その兄弟ヨハネをご覧になった。彼らは舟の中で網を繕っていた。

ルカ 6:40 弟子は師以上の者ではありません。しかし、だれでも十分に訓

**練を受ければ**、自分の師のようにはなりません。

ロマ 9:22 それでいて、もし神が、御怒りを示してご自分の力を知らせようと望んでおられたのに、滅ぼ**される**はずの怒りの器を、豊かな寛容をもって耐え忍ばれたとすれば、どうですか。

IIコリ 13:11 最後に兄弟たち、喜びなさい。**完全になりなさい**。慰めを受けなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神はあなたがたとともにいてくださいます。

ガラ 6:1 兄弟たち。もしだれかが何かの過ちに陥っていることが分かったなら、御霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を**正して**あげなさい。また、自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい。

Iテサ 3:10 私たちは、あなたがたの顔を見て、あなたがたの信仰で不足しているものを**補う**ことができるようにと、夜昼、熱心に祈っています。

ヘブル 10:5 ですからキリストは、この世界に来てこう言われました。「あなたは、いけにえやささげ物をお求めにならないで、わたしに、からだを**備えて**くださいました。

ヘブル 11:3 信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで**造られた**ことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるものからできたのではないことを悟ります。

ヘブル 13:21 あらゆる良いものをもって、あなたがたを**整え**、みこころを行わせてくださいますように。また、御前でみこころにかなうことを、イエス・キリストを通して、私たちのうちに行ってくださいますように。栄光が世々限りなくイエス・キリストにありますように。アーメン。

10:2 それができたら、礼拝する人たちは一度できよめられて、もはや罪を意識することがなくなるので、いけにえを献げることは終わったはずです。

礼拝する = ◀ 3000. latreuó (ラトゥルーオ) 21 回 ▶ (V) 仕える、奉仕する、礼拝する

10:5 ですからキリストは、この世界に来てこう言われました。「あなたは、いけにえやささげ物をお求めにならないで、わたしに、からだを備えてくださいました。

からだを備えてくださいました = (へ) 耳を掘ってくださいました。

詩篇 40:6 あなたはいけにえや穀物のささげ物をお喜びにはなりませんでした。あなたは私の耳を開いてくださいました。全焼のささげ物や罪のきよめのささげ物をあなたはお求めになりませんでした。

開く = ◀ 3738. karah 17 回 ▶ 掘る

@ (へブ10:5) 望まないで、私の為に体を作ってくださいました」

キリストがこの世にきて言った言葉

お求めになりませんでした = 満足されませんでした

10:7 そのとき、わたしは申しました。『今、わたしはここに来ております。巻物の書にわたしのことが書いてあります。神よ、あなたのみこころを行うために。』

10:10 このみこころにしたがって、イエス・キリストのからだは、ただ一度だけ献げられたことにより、私たちは聖なるものとされています。

私たちは聖なるものとされています = 聖化 (ローマ 6 章)

10:11 さらに、祭司がみな、毎日立って礼拝の務めをなし、同じいけにえを繰り返し献げても、それらは決して罪を除き去ることができませんが、

礼拝の務めをする = ◀ 3008. leitourgeó (ラトゥールゲオ) 3 回 ▶ 奉仕する、国家に奉仕する、公共サービスの行動、礼拝の務めをする、

使 13:2 彼らが主を礼拝し、断食していると、聖霊が「さあ、わたしのためにバルナバとサウロを聖別して、わたしが召した働きに就かせなさい」と言われた。

ロマ 15:27 彼らは喜んでそうすることにしましたが、聖徒たちに対してそうする義務もあります。異邦人は彼らの霊的なものに[あずかったのですから](#)、物質的なもので彼らに奉仕すべきです。  
(KJV)(NAS) to minister

ヘブル 10:11 さらに、祭司がみな、毎日立って礼拝の務めをなし、同じいけにえを繰り返し献げても、それらは決して罪を除き去ることができませんが、

10:12 キリストは、罪のために一つのいけにえを献げた後、永遠に神の右の座に着き、

10:13 あとは、敵がご自分の足台とされるのを待っておられます。

10:14 なぜなら、キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって永遠に完成されたからです。

@聖化

10:16 「これらの日の後に、わたしが彼らと結ぶ契約はこうである。——主のことば——わたしは、わたしの律法を彼らの心に置き、彼らの思いにこれを書き記す」と言った

後で、

10:17 「わたしは、もはや彼らの罪と不法を思い起こさない」と言われるからです。

10:19 こういうわけで、兄弟たち。私たちはイエスの血によって大胆に聖所に入ることができます。

@血によって、聖所にはいることができる

ヘブル 4:16 ですから私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、折にかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

Iヨハ 3:21 愛する者たち。自分の心が責めないなら、私たちは神の御前に確信を持つことができます。

エペ 3:12 私たちはこのキリストにあって、キリストに対する信仰により、確信をもって大胆に神に近づくことができます。

10:20 イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのために、この新しい生ける道を開いてくださいました。

肉体 = ◀ 4561. sarx (サルクス) 149 回 ▶ 体、肉体、魂の欲、血統、人、人生(1 コリ 7:28)

(キリストの肉体に使用している) ★

この新しい生ける道。

@モーセは6日間雲の外にいて7日目に雲の中に入った。

(出 24:18)モーセは雲の中には行って行き、山に登った。

10:22 心に血が振りかけられて、邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われ、全き信仰をもって真心から神に近づこうではありませんか。

10:23 約束して下さった方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白し続けようではありませんか。

告白 = ◀ 3671. Homologia (ハマラギア) ὁμολογία 6回(N)▶ 告白

語源は動詞の

◀ 3670. homologeó (ハマラゲオ) 26回(V)▶ 同意する、約束する、誓う、告白する、公に宣言する、ὁμολογέω

@わかりやすく一般的な形で説明すると

Homologos ホモロゴス HOMO + LOGOS =同じことを言う。 同意する

Homo=同じ

logos ことば

@ (共) ヘブル 10:23 約束して下さったのは真実な方なのですから、公に言い表した希望を揺るがぬようしっかりと保ちましょう。

10:24 また、愛と善行を促すために、互いに注意を払おうではありませんか。

(改2) 10:24 また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。

@勧め合って = exhortar

注意を払おう = ◀ 2657. Katanoeó (カタノエオ) 14回▶ (V) 注意を払う、認識する、識別する、気が付く

マタイ 7:3 あなたは、兄弟の目にあるちりは見えるのに、自分の目にある梁には、なぜ気がつかないのですか。



ルカ 12:24 鳥のことをよく考えなさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、納屋も倉もありません。それでも、神は養ってくださいます。あなたがたには、その鳥よりも、どんなに大きな価値があることでしょう。

10:25 ある人たちの習慣に倣って自分たちの集まりをやめたりせず、むしろ励まし(V)合いましょう。その日が近づいていることが分かっているのですから、ますます励もうではありませんか。

励まし = ◀ 3874. paraklésis (パラクレシス) 29 回 ▶ (N) 援助、励まし、呼びかけ、勧め、慰め

10:26 もし私たちが、真理の知識を受けた後、進んで罪にとどまり続けるなら、もはや罪のきよめのためにはいけにえは残されておらず、

10:30 私たちは、「復讐はわたしのもの、わたしが報復する。」また、「主は御民をさばかれる」と言われる方を知っています。

10:31 生ける神の手の中に陥ることは恐ろしいことです。

10:32 あなたがたは、光に照らされた後で苦難との厳しい戦いに耐えた、初めの日々を思い起こしなさい。

10:35 ですから、あなたがたの確信を投げ捨ててはいけません。その確信には大きな報いがあります。

10:36 あなたがたが神のみこころを行って、約束のものを手に入れるために必要なのは、忍耐です。

10:38 わたしの義人は信仰によって生きる。もし恐れ退くなら、わたしの心は彼を喜

ばない。」

11:1 さて、信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

(ギ)信仰は望んでいることの実態であり、目に見えないものをテストするものです。

保証する = ◀ 5287. *hupostasis* (ウパスタシス) 5回 ▶ (N) サポート、実質、安定性、保証。物質、

実在、信賴、

実体

(改4)では「確信」は3回(2 コリ 9:4)など

確信 = ◀ 1650. *elegchos* (エレハス) 2回 ▶ 証明、テスト。戒め(2 テモ 3:16)、確信(ヘブ 11:1)

2テモ 3:16 聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。

ヘブル 11:1 さて、信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

1:3 御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現れであり、その力あるみことばによって万物を保っておられます。御子は罪のきよめを成し遂げ、いと高き所で、大いなる方の右の座に着かれました。

本質 = ◀ 5481. *charaktér* (ハラクテール) 1回 ▶ (N) 刻印する道具、刻印、印象、画像、肖像、正確な複製

完全な現れ

@1) 約束を見つける 2) 達成条件を満たす 3) 信じて宣言してとりなす

11:2 昔の人たちは、この信仰によって称賛されました。

@

@ (2歴 15:7 しかし、あなたがたこそ強くあってほしいのです。力を落としてではありません。あなたがたの働きには報いが伴っているからです。)

11:3 信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるものからできたのではないことを悟ります。

ことば=レーマ

造られた=◀ 2675. Katartizó (カタルチゾ) 13回▶ 完全に、準備する  
一つに合わせる、繕う

マタイ 21:16 イエスに言った。「子どもたちが何と言っているか、聞いていますか。」イエスは言われた。「聞いています。『幼子たち、乳飲み子たちの口を通して、あなたは誉れを打ち立てられました』とあるのを、あなたがたは読んだことがないのですか。」

マルコ 1:19 また少し先に行き、ゼベダイの子ヤコブと、その兄弟ヨハネをご覧になった。彼らは舟の中で網を繕っていた。

ルカ 6:40 弟子は師以上の者ではありません。しかし、だれでも十分に訓練を受ければ、自分の師のようにはなります。

ロマ 9:22 それでいて、もし神が、御怒りを示してご自分の力を知らせようと望んでおられたのに、滅ぼされるはずの怒りの器を、豊かな寛容をもつ

て耐え忍ばれたとすれば、どうですか。

Ⅱコリ 13:11 最後に兄弟たち、喜びなさい。**完全になりなさい**。慰めを受けなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神はあなたがたとともにいてくださいます。

ガラ 6:1 兄弟たち。もしだれかが何かの過ちに陥っていることが分かったなら、御霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を**正して**あげなさい。また、自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい。

Ⅰテサ 3:10 私たちは、あなたがたの顔を見て、あなたがたの信仰で不足しているものを**補う**ことができるようにと、夜昼、熱心に祈っています。

ヘブル 10:5 ですからキリストは、この世界に来てこう言われました。「あなたは、いけにえやささげ物をお求めにならないで、わたしに、からだを**備えて**くださいました。

ヘブル 11:3 信仰によって、私たちは、この世界が神の**ことばで造られた**ことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるものからできたのではないことを悟ります。

ヘブル 13:21 あらゆる良いものをもって、あなたがたを**整え**、みこころを行わせてくださいますように。また、御前でみこころにかなうことを、イエス・キリストを通して、私たちのうちに行ってくださいますように。栄光が世々限りなくイエス・キリストにありますように。アーメン。

11:6 信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神がご自分を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならぬのです。

(ただし、(ギ)原文にはない)@(NKJ)神を(熱心に)求める者には (熱心に)を挿入

11:7 信仰によって、ノアはまだ見ていない事柄について神から警告を受けたときに、恐れかしこんで家族の救いのために箱舟を造り、その信仰によって世を罪ありとし、信仰による義を受け継ぐ者となりました。

11:8 信仰によって、アブラハムは相続財産として受け取るべき地に出て行くようにと召しを受けたときに、それに従い、どこに行くのかを知らずに出て行きました。

@信仰による義(ローマ4:1)

11:9 信仰によって、彼は約束された地に他国人のようにして住み、同じ約束をともに受け継ぐイサクやヤコブと天幕生活をしました。

@共同の相続人

ロマ 8:17 子どもであるなら、相続人でもあります。私たちはキリストと、栄光をともに受けるために苦難をともにしているのですから、神の相続人であり、キリストとともに共同相続人なのです。

エペ 3:6 それは、福音により、キリスト・イエスにあつて、異邦人も共同の相続人になり、ともに同じからだに連なって、ともに約束にあずかる者になるということです。

11:11 アブラハムは、すでにその年を過ぎた身であり、サラ自身も不妊の女であったのに、信仰によって、子をもうける力を得ました。彼が、約束してくださった方を真実な方と考えたからです。

ロマ 10:17 ですから、信仰は聞くことから始まります。聞くことは、キリスト

についてのことばを通して実現するのです。

ガラ 3:2 これだけは、あなたがたに聞いておきたい。あなたがたが御霊を受けたのは、律法を行ったからですか。それとも信仰をもって聞いたからですか。

ロマ 4:17 「わたしはあなたを多くの国民の父とした」と書いてあるとおりです。彼は、死者を生かし、無いものを有るものとして召される神を信じ、その御前で父となったのです。4:18 彼は望み得ない時に望みを抱いて信じ、「あなたの子孫は、このようになる」と言われていたとおり、多くの国民の父となりました。

11:13 これらの人たちはみな、信仰の人として死にました。約束のものを手に入れることはありませんでしたが、はるか遠くにそれを見て喜び迎え、地上では旅人であり、寄留者であることを告白していました。

喜び迎え = ◀ 782. aspazomai (アスパツマイ) 60回 ▶ 歓迎する、あいさつする

マタイ 5:47 また、自分の兄弟にだけあいさつしたとしても、どれだけまさったことをしたことになるでしょうか。異邦人でも同じことをしているではありませんか。

@手に入れることはありませんでした

マタ 13:17 まことに、あなたがたに言います。多くの預言者や義人たちが、あなたがたが見ているものを見たいと切に願ったのに、見られず、あなたがたが聞いていることを聞きたいと切に願ったのに、聞けませんでした。

I ペテ 1:12 彼らは、自分たちのためではなく、あなたがたのために奉仕

しているのだという啓示を受けました。そして彼らが調べたことが今や、天から遣わされた聖霊により福音を語った人々を通して、あなたがたに告げ知らされたのです。御使いたちもそれをはっきり見たいと願っています。

11:16 しかし実際には、彼らが憧れていたのは、もっと良い故郷、すなわち天の故郷でした。ですから神は、彼らの神と呼ばれることを恥となさいませんでした。神が彼らのために都を用意されたのです。

ヨハ 8:56 あなたがたの父アブラハムは、わたしの日を見るようになることを、大いに喜んでいました。そして、それを見て、喜んだのです。」

@旧約の福音

彼らは次のことを見ていた

@アブラハム＝ 天の故郷・復活

@モーセ＝ キリストの富

@ラハブ＝ 神の力

11:17 信仰によって、アブラハムは試みを受けたときにイサクを献げました。約束を受けていた彼が、自分のただひとりの子を献げようとしたのです。

11:18 神はアブラハムに「イサクにあつて、あなたの子孫が起こされる」と言われましたが、

11:19 彼は、神には人を死者の中からよみがえらせることもできると考えました。それで彼は、比喩的に言えば、イサクを死者の中から取り戻したのです。

**復活**

11:20 信仰によって、イサクはやがて起こることについて、ヤコブと**エサウ**を**祝福**しました。

イサクはヤコブだけをえこひいきしたのではない。

しかし、エサウはそれを受け取らなかった。

11:21 信仰によって、ヤコブは死ぬときに、ヨセフの息子たちをそれぞれ祝福し、また自分の杖の上に寄りかかって礼拝しました。(4352)

礼拝しました=ひれ伏せ= ◀ 4352. proskuneó (プラスクネーオ) 60 回▶ (一般的な礼拝を意味する単語) 敬意を払う、(畏敬をもって手に)キスする、ひざまづく、礼拝する

11:23 信仰によって、モーセは生まれてから三か月の間、両親によって隠されていました。彼らがその子のかわいいのを見、また、王の命令を恐れなかったからです。

@両親によって=父が決心

11:26 彼は、キリストのゆえに受ける辱めを、エジプトの宝にまさる大きな富と考えました。それは、与えられる報いから目を離さなかったからでした。

キリストの富

11:33 彼らは信仰によって、国々を征服し、正しいことを行い、約束のものを手に入れ、獅子の口をふさぎ、

11:34 火の勢いを消し、剣の刃を逃れ、弱い者なのに強くされ、戦いの勇士となり、他国の陣営を敗走させました。

@勝利を得た(約束の物を手に入れた)人

11:35 女たちは、死んだ身内の者たちをよみがえらせていただきました。また、



ほかの人たちは、もっとすぐれたよみがえりを得るために、釈放されることを拒んで拷問を受けました。

@さらにすぐれたよみがえり

@信仰ゆえに苦しんだ

11:36 また、ほかの人たちは嘲られ、むちで打たれ、さらに鎖につながれて牢に入れられる経験をし、

11:37 また、石で打たれ、のこぎりで引かれ、剣で切り殺され、羊ややぎの皮を着て歩き回り、困窮し、圧迫され、虐待されました。

11:38 この世は彼らにふさわしくありませんでした。彼らは荒野、山、洞穴、地の穴をさまよいました。

11:39 これらの人たちはみな、その信仰によって称賛されましたが、約束されたものを手に入れることはありませんでした。

11:40 神は私たちのために、もっとすぐれたものを用意しておられたので、私たちを抜きにして、彼らが完全な者とされることはなかったのです。

12:1 こういふわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、一切の重荷とまわりつく罪を捨てて、自分の前に置かれている競走を、忍耐をもって走り続けようではありませんか。

捨てて＝ ◀ 659. apothémi (アパティセミ) 9 回 ▶ 脱ぐ、わきに置く、やめる

エペソ 4:22 その教えとは、あなたがたの以前の生活について言えば、人を欺く情欲によって腐敗していく古い人を、あなたがたが脱ぎ捨てること、

12:1 こういふわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、一切の重荷とまわりつく罪を捨てて、自分の前に置かれ

ている競走を、忍耐をもって走り続けようではありませんか。

@重荷＝罪ではないが、わたしたちにまわり付く日常生活の習慣

12:2 信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。この方は、ご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されたのです。

12:3 あなたがたは、罪人たちの、ご自分に対するこのような反抗を耐え忍ばれた方のことを考えなさい。あなたがたの心が元気を失い、疲れ果ててしまわないようにするためです。

12:4 あなたがたは、罪と戦って、まだ血を流すまで抵抗したことはありません。

12:5 そして、あなたがたに向かって子どもたちに対するように語られた、この励ましのことばを忘れていません。「わが子よ、主の訓練を軽んじてはならない。主に叱られて気落ちしてはならない。

励ましの言葉＝ ◀ 3874. paraklésis (パラクレシス) 29 回 ▶ (N) 援助、励まし、呼びかけ、勧め、慰め

@ (箴言 3:11 わが子よ、【主】の懲らしめを拒むな。その叱責を嫌うな。

3:12 父がいとしい子を叱るように、【主】は愛する者を叱る。

12:6

愛する＝ ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

。

12:7 訓練として耐え忍びなさい。神はあなたがたを子として扱っておられるのです。

父が訓練しない子がいるでしょうか。

@柔和な心で訓戒＝

2テモテ 2:25 反対する人たちを柔和に教え導きなさい。神は、彼らに悔い改めの心を与えて、真理を悟らせてくださるかもしれません。

12:8 もしあなたがたが、すべての子が受けている訓練を受けていないとしたら、私生児であって、本当の子ではありません。

12:9 さらに、私たちには肉の父がいて、私たちが訓練しましたが、私たちはその父たちを尊敬していました。それなら、なおのこと、私たちは霊の父に服従して生きるべきではないでしょうか。

12:10 肉の父はわずかの間、自分が良いと思うことにしたがって私たちが訓練しましたが、霊の父は私たちの益のために、私たちをご自分の聖さにあずからせようとして訓練されるのです。

12:11 すべての訓練は、そのときは喜ばしいものではなく、かえって苦しく思われるものですが、後になると、これによって鍛えられた人々に、義という平安の実を結ばせます。

詩 105:19 彼のことばがそのとおりになるときまで【主】のことばは彼を錬った。

12:12 ですから、弱った手と衰えた膝をまっすぐにしなさい。

◀ 461. Anorthoo (アナルサオ) 3回 ▶ まっすぐにする、立たせる

12:13 また、あなたがたは自分の足のために、まっすぐな道を作りなさい。足の不自

由な人が踏み外すことなく、むしろ癒やされるためです。

まっすぐな = ◀ 3717. orthos (オルサーズ) 2回 ▶ (A) まっすぐな、  
おそらく ◀ 461. Anorthoó (アナルサオ) 3回 ▶ の形容詞

癒やす = ◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27回 ▶ (肉体を)癒す (救いという意味はない)

12:14 すべての人との平和を追い求め、また、聖さを追い求めなさい。聖さがなければ、だれも主を見ることができません。

@ (1ペテ 1:16 「あなたがたは聖なる者でなければならない。わたしが聖だからである」と書いてあるからです。

12:15 だれも神の恵みから落ちないように、また、苦い根が生え出て悩ませたり、これによって多くの人が汚されたりしないように、気をつけなさい。

@ 苦い根は何年たった後も問題となる

(2サム 13:22) IIサム 13:22 アブサロムはアムノンに、このことが良いとも悪いとも何も言わなかった。アブサロムは、アムノンが妹タマルを辱めたことで、彼を憎んでいたからである。

@ 苦い根の対処方法のひとつは目を出さないようにさせること。

12:16 また、だれも、一杯の食物と引き替えに自分の長子の権利を売った エサウの  
ように、淫らな者、俗悪な者にならないようにしなさい。

12:18 あなたがたが近づいているのは、手でさわれるもの、燃える火、黒雲、暗闇、嵐、

12:19 ラッパの響き、ことばのとどろきではありません。そのことばのとどろきを聞いた者たちは、それ以上一言も自分たちに語らないでくださいと懇願しました。

12:22 しかし、あなたがたが近づいているのは、シオンの山、生ける神の都である天上のエルサレム、無数の御使いたちの喜びの集い、

12:23 天に登録されている長子たちの教会、すべての人のさばき主である神、完全な者とされた義人たちの霊、

@長子たちの教会＝全員が長子の権利(2倍の祝福)

12:24 さらに、新しい契約の仲介者イエス、それに、アベルの血よりもすぐれたことを語る、注ぎかけられたイエスの血です。

創世記 4:10 主は言われた。「いったい、あなたは何ということをしたのか。声がする。あなたの弟の血が、その大地からわたしに向かって叫んでいる。

12:25 あなたがたは、語っておられる方を拒まないように気をつけなさい。地上において、警告を与える方を拒んだ彼らが処罰を免れなかったとすれば、まして、天から警告を与える方に私たちが背を向けるなら、なおのこと処罰を免れられません。

12:26 あのとときは御声が地を揺り動かしましたが、今は、こう約束しておられます。「もう一度、わたしは、地だけではなく天も揺り動かす。」

12:27 この「もう一度」ということばは、揺り動かされないものが残るために、揺り動かされるもの、すなわち造られたものが取り除かれることを示しています。

12:28 このように揺り動かされない御国を受けるのですから、私たちは感謝しようではありませんか。感謝しつつ、敬虔と恐れをもって、神に喜ばれる礼拝をささげようではありませんか。

礼拝する = ◀ 3000. latreuó (ラトゥルーオ) 21 回 ▶ (V) 仕える、奉仕する、礼拝する

13:3 牢につながれている人々を、自分も牢にいる気持ちで思いやりなさい。また、自分も **肉体** を持っているのですから、虐げられている人々を思いやりなさい。

肉体 = ◀ 4983. Sóma(ソマ) 142 回 ▶ 身体、肉体、(キリストの)身体 (改 4)では「からだ」

通常(改 4)でソマは「からだ」と訳され、「肉体」はサルクスだが、ここでは例外

13:5 金銭を愛する生活をせずに、今持っているもので満足しなさい。主ご自身が「わたしは決してあなたを見放さず、あなたを見捨てない」と言われたからです。

申 31:6 強くあれ。雄々しくあれ。彼らを恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、【主】ご自身があなたとともに進まれるからだ。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。」

13:6 ですから、私たちは確信をもって言います。「主は私の助け手。私は恐れない。人が私に何ができるだろうか。」

確信をもって = @ 確信に満ちて = 5節で「主ご自身がこう言われる」ゆえに確信を持てる

13:7 神のことばをあなたがたに話した指導者たちのことを、覚えていなさい。彼らの生き方から生まれたものをよく見て、その信仰に倣いなさい。

13:8 イエス・キリストは、昨日も今日も、とこしえに変わることがありません。

13:9 様々な異なった教えによって迷わされてはいけません。食物の規定によらず、恵みによって心を強くするのは良いことです。食物の規定にしたがって歩んでいる者たちは、益を得ませんでした。

@食物の規定にしたがって歩んでいる者たち=(改2)食物に気を取られた者は益を得ませんでした。

ローマ 14:6 特定の日を尊ぶ人は、主のために尊んでいます。食べる人は、主のために食べています。神に感謝しているからです。食べない人も主のために食べないのであって、神に感謝しているのです。

I コリ 10:31 こういうわけで、あなたがたは、食べるにも飲むにも、何をやるにも、すべて神の栄光を現すためにしなさい。

13:10 私たちには一つの祭壇があります。幕屋で仕えている者たちには、この祭壇から食べる権利がありません。

13:12 それでイエスも、ご自分の血によって民を聖なるものとするために、門の外で苦しみを受けられました。

13:13 ですから私たちは、イエスの辱めを身に負い、宿営の外に出て、みもとに行こうではありませんか。

13:14 私たちは、いつまでも続く都をこの地上に持っているのではなく、むしろ来たるべき都を求めているのです。

13:15 それなら、私たちはイエスを通して、賛美のいけにえ、御名をたたえる唇の果実を、絶えず神にささげようではありませんか。

@ 賛美のいけにえ = ◀ 133. Ainesis(アイネシス) 1 回▶ + ◀ 2378. thusia (トウシア) 29 回▶ い

◀ 133. Ainesis(アイネシス) 1 回▶ (N) 賛美、一回だけだが、似た形でしかも名詞形で ◀ 136. ainos 2 回▶ という言葉もある。また動詞形の ◀ 134. aineó 8 回(V)▶ は 8 回出てくるしたがってこの単語は特殊ではない。

◀ 2378. thusia (トウシア) 29 回▶ いけにえ  
感謝のいけにえ

(詩篇 50:14 感謝のいけにえを神に献げよ。あなたの誓いをいと高き神に果たせ。

賛美を意味するその他の単語

◀ 5214. humneó 4回▶ (V)

マタ 26:30 そして、彼らは賛美の歌を歌ってからオリーブ山へ出かけた。

マル 14:26 そして、賛美の歌を歌ってから、皆でオリーブ山へ出かけた。

ヘブル 2:12 「わたしは、あなたの御名を兄弟たちに語り告げ、会衆の中であなたを 賛美しよう。」

◀ 5568. psalmos 7 回▶ (N) 詩篇 賛美

ルカ 20:42 ダビデ自身が詩篇の中で、こう言っています。『主は、私の主に言われた。「あなたは、わたしの右の座に着いていなさい。

◀ 134. aineó 8 回(V)▶

ルカ 2:13 すると突然、その御使いと一緒におびただしい数の天の軍勢が現れて、神を 賛美した。

ルカ 2:20 羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて御使いの話のとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。



13:16 善を行うことと、分かち合うことを忘れてはいけません。そのようないけにえを、神は喜ばれるのです。

分かち合うこと=(改2)持ち物を人に分けること

@善を行なうこと、持ち物を人に分けること=いけにえ

13:17 あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、また服従しなさい。この人たちは神に申し開きをする者として、あなたがたのたましいのために見張りをしているのです。ですから、この人たちが喜んでそのことをし、嘆きながらすることにならないようにしなさい。そうでないと、あなたがたの益にはならないからです。

見張りをしている= ◀ 69. agrupneó (アグルプネオ) 4回 ▶ (V) 目をさましている、見張る(ヘブル 13:17)

13:18 私たちのために祈ってください。私たちは正しい良心を持っていると確信しており、何事についても正しく行動したいと思っていますからです。

13:19 私があなたがたのもとに早く戻れるように、なおいっそう祈ってくださいよう、お願いします。

(なし)

お願いします= ◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109回 ▶ (V) 呼びかける。慰める、励ます、勧める、懇願する、助言する、奨励する、

13:20 永遠の契約の血による羊の大牧者、私たちの主イエスを、死者の中から導き出された平和の神が、

13:21 あらゆる良いものをもって、あなたがたを整え、みこころを行わせてくださいますように。また、御前でみこころにかなうことを、イエス・キリストを通して、私たちのうち

に行ってくださいように。栄光が世々限りなくイエス・キリストにありますように。ア  
ーメン。

◀ 2675. Katartizó (カタルチゾ) 13回 ▶ 完全にする、準備する  
一つに合わせる、繕う

マタイ 21:16 イエスに言った。「子どもたちが何と言っているか、聞いてい  
ますか。」イエスは言われた。「聞いています。『幼子たち、乳飲み子たちの  
口を通して、あなたは誉れを打ち立てられました』とあるのを、あなたがた  
は読んだことがないのですか。」

マルコ 1:19 また少し先に行き、ゼベダイの子ヤコブと、その兄弟ヨハネを  
ご覧になった。彼らは舟の中で網を繕っていた。

ルカ 6:40 弟子は師以上の者ではありません。しかし、だれでも十分に訓  
練を受ければ、自分の師のようにはなります。

ロマ 9:22 それでいて、もし神が、御怒りを示してご自分の力を知らせよう  
と望んでおられたのに、滅ぼされるはずの怒りの器を、豊かな寛容をもつ  
て耐え忍ばれたとすれば、どうですか。

IIコリ 13:11 最後に兄弟たち、喜びなさい。完全に成りなさい。慰めを受  
けなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平  
和の神はあなたがたとともにいてくださいます。

ガラ 6:1 兄弟たち。もしだれかが何かの過ちに陥っていることが分かった  
なら、御霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を正してあげな  
さい。また、自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい。

Iテサ 3:10 私たちは、あなたがたの顔を見て、あなたがたの信仰で不足しているものを補うことができるようにと、夜昼、熱心に祈っています。

ヘブル 10:5 ですからキリストは、この世界に来てこう言われました。「あなたは、いけにえやささげ物をお求めにならないで、わたしに、からだを備えてくださいました。

ヘブル 11:3 信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるものからできたのではないことを悟ります。

ヘブル 13:22 兄弟たちよ、あなたがたにお願いします(V)。このような勧め(N)のこばを耐え忍んでください。私は手短かに書いたのです。

お願いします = ◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109 回 ▶ (V) 呼びかける。慰める、励ます、勧める、懇願する、助言する、奨励する、

勧め = ◀ 3874. paraklésis (パラクレシス) 29 回 ▶ (N) 援助、励まし、呼びかけ、勧め、慰め